

平成26年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
法人本部

平成26年度 社会福祉法人交楽会 事業報告

平成26年度において、社会福祉法人交楽会が実施した事業について、下記のとおり報告します。

(1) 運営事業

1. 第1種社会福祉事業
 - (1) 障害者支援施設 森幸園
 - (2) 特別養護老人ホーム 森泉荘
2. 第2種社会福祉事業
 - (1) 介護老人保健施設 もりよし荘
 - (2) 森泉荘老人短期入所施設
 - (3) もりよし荘在宅介護支援センター
 - (4) 認知症対応型老人共同生活援助事業 (もりの家・もりの郷)
 - (5) 老人デイサービス事業 (もりの郷)
 - (6) 障害者福祉サービス事業 (もりの郷)
 - (7) 相談支援事業
3. 公益を目的とする事業
 - (1) 居宅介護支援事業
 - (2) 居宅介護予防支援事業

(2) 役員会開催状況

理事会5回、評議員会3回開催し、それぞれの議案について審議しました。苦情解決第3者委員3名について選任し2名再任、1名新任となりました。

理事奥山京子氏が9月8日急逝されたため、12月10日の評議員会で片岡嘉代子氏が選任されました。

(3) 役員研修・役員懇談会

8月27日に「秋田県経営者協議会主催 役員研修」(秋田市)に役員6名・職員2名参加、11月27日～28日の「北海道・東北ブロックセミナー」(宮城県仙台市)に役員7名・職員4名が参加し研修を受講しています。

各施設において、施設担当役員との懇談会を開催しました。

(4) 人事異動・採用・退職

- ① 26年度は、5名の人事異動を実施、正職員には4月に13名採用しています。また正職員10名が退職(うち定年7名～27年度再雇用3名)しました。
- ② 新卒者の正職員採用試験を実施し、8月一次試験(筆記)、9月二次試験(面接試験)を行い4名が受験しました。本部事務員1名、生活支援員1名を合格とし平成27年4月1日から採用しています。

(5) 本部事務所及びもりよし荘居宅介護支援事業所移転

5月1日(木)から森吉構造改善センター2階へ事務所を移転し、本部の運営管理機能の強化及び各事業所間の連絡・連携を密にする体制を整え安定経営を図ることに努めています。

(6) 社会福祉法人新会計基準への移行

26年度より厚生労働省から示された社会福祉法人新会計基準へ移行し、統一された会計基準のもと、法人全体の財務状況を明らかにし、経営分析を可能とするとともに外部への情報公開に交楽会として対応しています。

(7) 税務調査

6月9日～11日の3日間大館税務署員による税務調査が実施され、被服費及び医師住宅への追徴課税、講師謝礼報酬への追徴課税の指摘があり過去5年間にさかのぼり対応しました。

(8) 今後の課題

- ①社会福祉法人制度に対応した経営組織のガバナンス(統治、自主的・自立的な福祉事業経営)強化及び課題分析・対応策の検討
- ②交楽会全体の職員配置、人件費適正化の検討及び人材確保、人材育成
- ③地域住民のニーズに対応した事業計画の検討
- ④計画的な積立金の確保(内部留保)

○理事会開催状況

	日 時	出 席 状 況
第1回	4月28日(月) 10:00	理事監事9名、書面出席1名、欠席1名
第2回	5月30日(金) 15:00	理事監事10名、書面1名
第3回	6月20日(金) 10:00	理事監事10名、書面1名
第4回	12月10日(水) 15:00	理事監事10名、書面1名
第5回	3月26日(木) 14:00	理事監事10名、書面1名

○評議員会開催状況

	日 時	出 席 状 況
第1回	5月30日(金) 10:00	16名出席、3名欠席
第2回	12月10日(水) 10:00	16名出席、3名欠席
第3回	3月26日(木) 10:00	19名出席

○役員協議会

回数	日 時
第1回	12月8日(月)14:00~15:00

○三役会

回数	月 日	回数	月 日	回数	月 日
第1回	4月15日(火)	第4回	9月1日(月)	第7回	2月17日(火)
第2回	4月18日(金)	第5回	10月15日(水)		
第3回	5月13日(火)	第6回	2月5日(木)		

○施設長会議

回数	月 日	回数	月 日	回数	月 日
第1回	5月23日(金)	第4回	11月25日(火)	第7回	2月5日(木)
第2回	7月29日(火)	第5回	1月27日(水)	第8回	2月13日(金)
第3回	9月29日(月)	第6回	2月4日(水)		

○評価作業部会

回数	月 日	回数	月 日
第1回	11月14日(木)	評定者研修	1月26日(月)

○役員研修会

	月日	研修名	主催	開催地	内 容	参加
1	8月 27日	社会福祉法人 役員研修会 I	秋田県社会福祉法人経営者協議会	秋田市	<ul style="list-style-type: none"> ・新会計基準の概要と財務諸表の読み方について ・新会計基準における財務分析について ・事業計画や中長期計画の立て方及び資金使途計画の組み方について 	役員～ 6名 職員～ 2名
2	11月 27日～ 28日	全国経営協「北海道・東北ブロックセミナー」	宮城県社会福祉法人経営者協議会	仙台市	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演～「非課税の維持に向けた社会福祉法人の行動」 ・講演「社会福祉法人制度の見直しと今後の経営の在り方」「居心地のいいまちをつくる～人々の記憶をつなぎ、交流を育む暮らしの場とは～」 ・報告「被災地の現状(報告)と社会福祉法人の取組(期待)」 ・情報提供「社会福祉法人経営者がとるべき、2025年モデル対応策と2025年その後のモデルの対応策」 	役員～ 7名 職員～ 4名

○役員懇談会

施設名	月 日	出席役員	施設名	月 日	出席役員
もりよし荘	1月9日(金)	5名	森幸園	1月12日(月)	5名
森泉荘	11月14日(金)	4名	もりの郷	12月20日(土)	5名

○苦情解決

○苦情解決第3者委員(3名)

- ・庄司康宏、原田敏美、奥山芳寿
任期：平成24年6月1日～平成26年5月31日(2年)
- ・原田敏美、奥山芳寿、笠井乗子
任期：平成26年6月1日～平成28年5月31日(2年)

【相談コーナー開催日】

回数	日時	内 容
第1回	8月1日(金)	もりよし荘(夕涼み) 第3者委員～3名
第2回	9月5日(金)	森泉荘(敬老式) 第3者委員～3名
第3回	9月28日(日)	もりの郷(家族会総会) 第3者委員～2名
第4回	10月4日(土)	森幸園(たんぽ会) 第3者委員～3名

※苦情解決第3者委員委嘱状交付式～平成26年6月16日(月)

※苦情解決担当者会議～平成27年3月12日(木)

(理事長、第3者委員3名、各施設苦情解決責任者及び苦情受付担当者10名)

平成26年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
介護老人保健施設 もりよし荘

平成 26 年度 介護老人保健施設もりよし荘 事業報告

◎施設運営

前年度末まで感染症の発生により非常態勢をとっていたので、上半期は感染予防と利用者様の平穏な生活の確保に努めた。4月の人事異動、5月は本部と居宅事業所の事務所移転があったが、職員体制の確立を図り、6月のもりりんピック、8月の夕涼み会、9月の敬老会、10月の地域福祉講座と地域の皆さんにも参加いただいで成功裏に開催できた。感染症の流行時期となる11月以降は、大型加湿空気清浄機の設置による設備面の対策や面会規制、職員の予防意識の徹底に努め、集団感染が発生することはなかった。しかしながら入院や死亡、他施設異動等による年間の退所者が30名を超えたこともあり目標の入所率は達成できなかった。自立支援に向けた総合的な援助と共に、今後は新たな利用者確保に努める必要がある。

◎重点目標取り組み報告

・入所・短期入所

① 施設サービス計画の充実

「R-4方式」（老健版マネジメント方式）によるサービス計画作成について、システマ的にも安定し（基本情報とR4の連動）、職員も多職種連携の意義を意識しながらサービスの実施に努めた。ご家族にはプランの説明を行い同意して頂きながら、さらに要望に答えられるよう努めた。

② 各関係機関との連携

北秋田市民病院が主体となって運営されている北秋田市地域医療連携センター及び北秋田市地域包括支援センターと連携を図り、それぞれが企画する研修会等への積極的参加を心掛けた。また、北秋田市から訪問リハビリ事業を受託しサービスの提供を開始した。

③ 多職種連携による生活能力の向上

リハビリを中心に、多職種連携の意義を再認識しながら職員がそれぞれの立場でサービスの質の向上に努めた。ユニット内で情報の共有の努め、目標に対しよりきめ細かな対応を心掛けた。

④ 利用率の向上

目標利用率 96.5% に対し実績 93.0% であった。死亡退所、他施設（特養等）への入所、入院による退所者が多く、新規入所者の獲得に努力したが、年間を通じ目標を上回ることなく厳しい状況が続いた。

⑤ 看取り体制の充実

施設で看取りを行ったケースは10名（内ターミナルケア加算算定7名）で、ご家族との信頼関係も厚く、最後の時を向えることが出来たのではないかと。看取りについて今後も職員が誠心誠意、真摯に対応し、努力を重ねながらサービスの向上に努めていくことが大切である。

⑥ 職員の資質向上

外部研修、内部研修（全体、ユニット内、委員会）の充実を図った。各ユニット内では感染症、高齢者虐待、身体拘束等について研鑽を重ね、実際の場面で役立つ研修に努めた。毎年、資格取得を奨励してきたが、本年度は介護支援専門員 1 名、介護福祉士 1 名が合格した。

⑦ 感染予防

前年度の胃腸炎集団感染を踏まえ、年度当初から感染予防委員会を中心に組みを行った。職員、ご家族にも意識の変化が見られ、結果的に大きな感染症蔓延もなく 1 年を経過することが出来た。

⑧ 地域福祉講座の開催

講師に介護老人保健施設ニコニコ苑マネージャーの桜庭達哉氏を迎え、「対人援助テクニック」と題し講演を頂戴した。外部参加者約 100 名、法人内関係者約 20 名の参加があり、成功裏に開催することが出来た。

⑨ 介護技術の向上

経験の浅い職員向けに介護技術研修を 2 回行った。車椅子、ベットサイドを中心に安心・安全にサービス提供出来るよう技術の習得に努めた。また、日頃から疑問に感じていることやコツも遠慮なく聞ける良い機会となった。

⑩ 接遇マナー

各ユニット内で、接遇マナーの内部研修に取り組んだ。基本的な施設職員としての振る舞い、言葉使い、服装等、常に心掛けることの大切さを学んでいる。研修を継続し、職員の意識を保ち続けることが大切であると認識している。

・通所リハビリテーション

- ①目標利用率 70%に対し 68.0%の実績であった。市内全域をサービス実施地域としているため時間的な制約もあるが、利用者確保に努めたい。
- ②サービス担当者会議で、状態確認、ご家族の意向も確認し、サービスが状態の改善に繋がるよう努めた。状態の変化には充分注意をはらい、ご家族、担当ケアマネと情報を共有しながら、不足の事態には迅速に対応した。
- ③感染症に対する意識を高め、ご家族にも理解が得られるよう努めた。特に朝の迎え時のバイタルチェックは時間も要するが、冬期間継続することが出来た。

・居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター

- ①利用者件数の確保に努めたが微増に留まった。今後、人口動態、他事業所の動向から、大幅な利用者の増加は難しいことが予想されるが、一層の努力を重ねて行きたい。
- ②各関係機関との連携に努め、認知症対策、地域包括ケアの推進を図った。

事業報告書

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
4月	1日 もりよし荘便り(かけはし)発行 7日 業務用小型洗濯機保守点検 9日 福祉公社ヘルパー実習受入4名(～14日) 12日 開設記念日(23回目) 17日 運営会議 18日 春のクリーンアップ	8日 理容の日 14日 美容の日 21日 理容の日
5月	12日 ワックスがけ～7/22日まで 16日 自動ドア保守点検 19日 職員健康診断(事業団) 20日 安全運転管理者講習会 22日 運営会議 27日 森吉中学校職場体験学習1年生4名(～29日) // 総合避難訓練 28日 エレベータ保守点検	5日 理容の日 8日 米内沢祭典・神輿見学 9日 米内沢小運動会前日祭(踊り披露) 12日 美容の日 15日 みずユニットドライブ(菜の花ロード) // うめユニット散歩買い物(～26日 うち4日間) 19日 理容の日 26日 美容の日 28日 北欧の杜歩行訓練 // 北秋田市チャレンジデー
6月	2日 窓ガラス清掃(～3日) 3日 役職会議・職員会議 // 空調暖冷切り替え // 灯油地下タンク清掃点検 12日 消防設備点検 17日 献血車来荘 19日 運営会議 27日 外部講師研修「排泄ケアと感染管理」花王 28日 県北老健施設野球大会(大館市樹海ドーム) 30日 比内養護学校鷹巣分校高等部3年生職場実習1名(～7/4)	2日 理容の日 3日 通所ドライブ開始(～27日 延べ41名参加) 7日 第7回もりりんピック 9日 美容の日 16日 理容の日 23日 美容の日
7月	7日 浄化槽法定検査 8日 市委託訪問リハビリ事業開始 17日 運営会議 19日 施設内雨漏り補修工事 22日 外部講師研修「嚙下について」クリニコ 25日 医師住宅外壁補修工事(～8/12日)	7日 理容の日 14日 美容の日 17日 比内養護学校たかのす分校中学部来荘 28日 美容の日
8月	5日 職場体験学習森中1年生1名(北秋田市教育委員会) 19日 理事長訪問日 // 冷暖房用ボイラー煤煙測定 21日 役職会議 // 運営会議	1日 夕涼み会、柏木妙子御一行様民謡披露 // 苦情解決相談コーナー 4日 理容の日 11日 美容の日 13日 米内沢共勇会獅子踊り 18日 理容の日 25日 美容の日 ※ お盆帰省利用者～外出11名、外泊10名
9月	1日 協会けんぽ保健指導～3日(12名) 6日 秋田県老健バレー大会 大館樹海体育館 12日 秋田県老健職場交流会～13日(横手市7名) 18日 簡易専用水道検査 保健事業団 // 運営会議 24日 比内養護学校鷹巣分校高等部2年生就労体験学習3名(～25日) 25日 厨房冷蔵庫・食器保管庫点検修理 26日 施設サービス公表制度調査日 30日 空調冷暖切り替え	1日 理容の日 8日 美容の日 9日 利用者結核検診(直接・間接) 11日 敬老会(米内沢保育園児演芸披露) 18日 比内養護学校鷹巣分校中学部交流会 通所 22日 美容の日 28日 100キロマラソン応援 29日 理容の日 30日 うめユニットドライブ(北欧の杜)

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
10月	1日 もりよし荘だより発行(第6号) 3日 レジオネラ水質検査 8日 電気設備点検 10日 地域福祉講座「対人援助テクニックについて」 15日 受水槽・通所FF暖房器清掃点検 16日 運営会議 17日 秋のクリーンアップ 21日 施設内研修「福祉用具について」外部講師 24日 ローダー点検 27日 合同会議 29日 夜勤職員健康診断	3日 うめユニットドライブ 6日 理容の日 // みずユニットドライブ 9日 JAコンサート 合川体育館 5名 13日 美容の日 14日 通所ドライブ開始(~11/12 延べ37名) 16日 ふきユニットドライブ 23日 昼食 きりたんぼ // ふじユニットドライブ 27日 美容の日 28日 みずユニットドライブ
11月	4日 避難訓練(夜間想定)、通報訓練 13日 理事長訪問日 16日 インフルエンザ予防接種(19日、21日)	3日 理容の日 10日 美容の日 14日 比内養護学校活動紹介展示コーナー設置(~12/10まで) 17日 理容の日 24日 美容の日 25日 インフルエンザ予防接種(~入所者89名実施)
12月	1日 役職会議 2日 消防設備点検 3日 献血者来荘 10日 介護支援専門員実務者研修試験1名合格 12日 衆議院・最高裁判所不在者投票32名実施 14日 浴室清掃 15日 屋上雨漏り補修工事 16日 空間清浄機2台設置 17日 エレベータ保守点検 18日 運営会議 25日 敷地内外灯2箇所LED灯取替工事	1日 理容の日 8日 美容の日 22日 美容の日 24日 クリスマス会 26日 餅つき大会 // 感染対策のため面会規制開始 31日 大晦日 年越しそば ※ お正月帰省利用者~外出3名、外泊5名
1月	5日 施設長年始訓示 // 大型加湿器2台(3ヶ月間レンタル)設置 // 感染警報第1報発令(面会規制) 9日 もりよし荘担当役員懇談会 15日 運営会議 // 厨房食器用保管庫保守点検 16日 県保健衛生部来荘(結核対応マニュアル作成) 21日 医師住宅雪下ろし	2日 うめ・ふきユニット新年会 7日 ふじユニット新年会 12日 美容の日 13日 みずユニット新年会 19日 理容の日 26日 美容の日
2月	1日 七曲自治会防災協定締結 4日 自動ドア保守点検 6日 電気設備点検 18日 暖房用ボイラー煤煙測定 19日 運営会議 20日 処遇改善指導日	2日 理容の日 3日 節分 豆まき 9日 美容の日 16日 理容の日 23日 美容の日
3月	1日 介護福祉士2次試験(1名合格) 4日 役職会議 16日 エレベータ保守点検 17日 協会けんぽ保健指導日~18日まで 12名 19日 運営会議 28日 厨房配水管詰まり工事 30日 職員会議	2日 美容の日 3日 ひな祭り 9日 美容の日 16日 理容の日 31日 感染対策のため面会規制継続

平成26年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
障害者支援施設 森幸園

【事業・運営】

1、総括

今年度の最大事業であった、大規模修繕は4月の内示、6月下旬からの工事を経て9月末で完成し、10月に東京都の完成検査を終え、1月に補助金の入金があり無事に終了しました。又東京都赤い羽根共同募金会に申請していた補助が認可となり、10月にマイクロバスを購入する事が出来ました。財政面では、年々厳しくなって来ましたが、これからも今回のように色々な補助金活用や加算を見据え、運営面にプラスになるように進めたい。

利用者のサービスの向上に向けては、支援計画、業務計画にそって、1年間順調に取り組むことが出来ました。

第三者評価受審では、良い点、改善点を指摘して頂き、新たな「気づき」をもたらして貰い今後のステップアップへと繋がったため、これからも受審を継続して行きたい。

地域との関わりでは、防災会議や災害協定、清掃・除雪奉仕等、地域の方に理解、協力を頂きました。その中で防火水槽を設置出来ました事は大変喜ばしい事でした。今後は、施設としてどのような地域貢献が出来るのか検討し、更なる関係構築につとめます。

2、重点事項

(1) サービス提供体制の推進

相談支援事業は、2年目を迎え手探り部分が多く計画的に遂行出来なかったところもあったが、個別スケジュール表にそって進めた結果、個別支援計画書を作成することが出来た。北秋田市主催の勉強会にも積極的に参加し情報の収集や共有に努める等、連携を図りながら個々の支援計画書に反映出来るようにした。

(2) 利用者に適した生活支援の対応

利用者の健康状態や精神面に於いて、その都度見直しを行ったほか居室移動などを行い安全に安心した生活が出来るように努めました。余暇日の月間予定などは、話し合いの中で、利用者の社会参加や社会体験を多く取り入れ、自己選択、自己決定が出来るように支援しました。食事のサービス面でも健康状態に合わせた食事の提供、新メニューの提供などがあり、献立表を見ながら食事を楽しみにしている利用者もおります。

(3) 日中活動の充実

地域からの利用者の受け入れ、サービスの枠を超えた活動の場を提供できた。又利用者の健康や体調を考え活動の場の変更を行う等柔軟な対応を行った。生産活動に於いては、野菜・果樹の栽培が順調で売上げが昨年を大きく上まった。反面、比内地鶏販売はヒナ飼育時の天候不順で飼育予定数が減少し収益面に大きな打撃を与えた。そんな中、新たな受託作業を開拓でき、軌道に乗るよう現在取り組んでいます。

(4) リスクマネジメントへの取り組み

不定期であるが、各ユニット及び係において、KYT基礎4R法を用いて危険予知訓練を実施し、施設が目指すリスクマネジメントのあり方について学んだ。又勉強会を通じて、感染症や腰痛症予防の意識強化にも努めた。

(5) 職員の資質の向上

係長会議の中に、虐待防止委員会を設置し、毎月各ユニットにて、虐待的行為や不適切支援がなかったかを検証した。又東京都障害者虐待防止・権利擁護研修へ職員を派遣し、施設内で伝達講習を行い不適切な支援のグレーゾーンの明確化に努めた。

勉強会は、年8回行ったほか、外部講師を招いての研修も行き、専門的な知識の習得や資質の向上への取り組みができました。

(6) 地域や家族との連携強化

「地域の一員として生活できるように」と地域との交流会や行事参加、防災活動の連携等交流を深める事ができた。更に高齢者が地域住民ボランティアを活用し外出する事で、生活に充実感が得られた。又家族総会や懇談会、たんぽ会では家族との有意義な時間を過ごすことができた。

3、事業概要

平成26年4月～平成26年9月

月	管 理 ・ 運 営	利用者援助 ()内は参加利用者
4月	19日 家族会総会(31家族37名・理事長他15名) 23日 地域との合同防災会議(14名) 25日 第1回勉強会(32名・相談支援事業) 28日 後援会やまね会総会	12日 思いやり自治会総会(65名) 28日～5月2日 活動毎に観桜会
5月	19日 職員健康診断 22日 地域防災会議(14名) 23日 第2回勉強会(36名・介護技術)	11日 前田小学校運動会(13名) 14日 地域奉仕活動(バス停・利10名職4名) 19日 利用者健康診断 ※ 一泊旅行5月1グループ(9名・青森)
6月	7日 やまね後援会草刈りボランティア (後援会16名・ボランティア1名・職員19名) 10日 防災対策委員会(神成8名・施設6名) 16日 大規模修繕入札(5社) 18日 全体職員会議 23日 第三者評価員訪問 (利用者聞き取り、職員説明会) 26日 法人栄養士情報交換連絡会 27日 第3回勉強会(31名・メンタルヘルス)	5日 前田保育園サツマイモ苗植え交流 (園児12名・利用者28名) 6日 地域奉仕活動(神成地区12名) 8日 思いやり自治会 20日 総合避難訓練 22日 東地区バーベキュー(利24名・ボラ2名) ※一泊旅行6月3グループ(24名・青森・岩手)
7月	3日 第三者評価に伴う経営層合議 4日 潟上市役所民生委員来園(10名) 15日 秋田市手をつなぐ育成会来園(40名) 18日 神成自治会との災害協定の調印式 (自治会役員・消防員10名・職員11名) 22日 新人職員研修(10名・2施設見学) 25日 第4回勉強会(37名・高齢者支援) 28日 第三者訪問調査(実施記録・ヒヤリング)	2日 県北レクリエーション大会(38名) 7日 地域奉仕活動(桜堤公園6名) 12日～13日 東・さわやか合同キャンプ (妖精のもり・12名) 26日 交通安全教室(35名) ※一泊旅行7月3グループ(25名・宮城・岩手)
8月	1日 産業医変更(疋田先生→児玉先生へ) 3日 やまね後援会草刈りボランティア (後援会12名・ボランティア1名・職員11名) 5日 年金勉強会(職員10名) 23日 第5回勉強会(31名・日中活動)	7日 七夕火祭り(9名) 11日～17日 夏季一時帰宅(13名・秋田3名) 12日 日帰り残園者旅行(本体・東) 24日 東地区ボランティア外出(5名・ボラ2名) 29日 夜間想定避難訓練(集合訓練を含む) 31日 利用者自治会バーベキュー(23名) ※一泊旅行8月1グループ(6名・岩手)
9月	8日 車椅子1台寄贈(第一生命) 27日 やまね後援会草刈りボランティア (後援会8名・ボランティア3名・職員14名) 29日 大規模修繕工事完成検査(施設)	15日 神成地区祭典(5名) 29日 交通安全キャンペーン(5名) 30日 無断外出捜索訓練 ※一泊旅行9月3グループ(22名・青森・宮城)

平成26年10月～平成27年3月

月	管 理 ・ 運 営	利用者援助 ()内は参加利用者
10月	4日 たんぽ会 (28家族45名、他後援会や地域住民) 17日 秋田県東京都委託連絡協議会 (東京都職員2名・かもめ苑1名・委託施設6施設27名) 20日 マイクロバス納車(都赤い羽根共同募金) 22日 大規模修繕工事、東京都完成検査 (都職員2名、他9名) 24日 全体職員会議・園内研修会 29日 職員(夜勤)健康診断	7日 いぎいきサロンだまっこ交流(10名) 9日 JA主催歌謡ショー(21名) 20日 前田小学校学習発表会(7名) 28日 地域奉仕活動(バス停4名) 29日 利用者健康診断
11月	9日 地域合同避難訓練(夜間地震想定) 防災会議・地域懇談会 (森吉分署長、巡査長、自治会役員6名消防団5名 やまね会9名、職員14名) 11日 施設見学 青森県(夢)(施設長他5名) 15日 家族会役員会 17日 法人監査 21日 勉強会(39名、感染症予防対策)	5日 神成女性部とのだまっこ交流(10名) 9日 東地区夜間地震想定訓練 (地域協力員17名) 22日 鍋昼食会(～3月) 25日 本体夜間地震想定訓練
12月	2日 防火水槽完成 3日 地域振興局、B型の活動現地調査 (異常なし) 29日 本体ワックスがけ	5日 インフルエンザ予防接種(利用者・職員) 11日 歳末助け合い募金運動(秋田市1名) 15日 北秋田市障害生活支援センター主催 クリスマス会(6名) 13日 利用者自治会主催クリスマス会 (高校生ボランティア3名) 29日 冬季一時帰宅(東京12名・県内2名) 29日 日帰り残園者旅行(本体・東地区)
1月	12日 法人役員懇談会(役員5名、職員7名) 20日 法人評価研修(コミュニティセンター) 20日 県・市による雪崩危険箇所パトロール実施 22日 正職登用作文試験(2名) 23日 第7回勉強会(32名、ヒヤリハット報告会)	5日 冬季一時帰宅帰園日 18日 除雪奉仕活動 (利用者4名、職員2名、職員ボランティア4名)
2月	5日 第8回勉強会(29名、個別支援計画) 7日 救急救命講習会(9名、神成自治会5名他 施設3名) 14日 家族会役員会 28日 外部講師研修会(26名、健康について)	1日 地区歳祝い(1名個別でのお祝い) 14日 除雪奉仕活動 (利用者7名・やまね後援会11名・職員3名 職員ボランティア14名)
3月	12日 法人苦情解決担当者会議 13日 法人新人職員研修(5名参加) 19日 全体職員会議・園内研修会 26日 理事会・評議員会	4日 前田小学校へベルマーク寄贈

平成26年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
特別養護老人ホーム 森泉荘

総括

交楽会綱領に基づき、事業計画に沿った運営を行い利用者サービスの向上に努めてまいりました。

日々変化する利用者の対応は職員の職務意識が重要であり、チームワークの取れた対応が求められております。このことから、毎日の生活が活気あるものとするため、余暇活動を活発に取り入れ、生活に生き甲斐感をもたらすよう努めております。

施設運営関係では、北秋田市から施設の無償譲渡を受けたことにより、指定管理者を解除し、本年度から交楽会が実質的な施設運営を行なっております。高齢者福祉の取り巻く環境もますます厳しくなっておりますが、適正な運営管理に努めております。

施設事業関係では、恒例行事として9月に敬老式を開催し、たくさんの来賓をお迎えし盛会裏に終えております。また、阿仁前田獅子踊り保存会の伝統芸能披露会など、地域事業に協力しております。

地域交流関係については、消防署職員の指導のもと地元自治会12名・職員9名の参加により、救急救命講習会を開催し地域との交流を深めております。また、ボランティアでお見えになる方々を対象に「介護教室」を数回開催し、介護に関連したさまざまな情報を提供することができました。

利用者の実績

(入所率%)

	本年度実績	昨年度実績
長期利用者	99.0	97.4
短期利用者	97.4	101.6
全体	98.7	98.3

重点目標

1. 明るい職場づくり

職員の職場に対する意識の取り組み、そこから生まれる利用者支援（介護）を大切にすることにより職員と職員、そして職員と利用者間に信頼意識が生まれる職場の構築。職場の規律を遵守することによる専門性の向上・安心感・信頼感のある職場づくりに努めました。

2. 実践を主体とした介護

利用者の接遇について、職員は常に思いやりの精神を持ち、技術向上のため外部研修や施設内研修を積極的に実施し、利用者の心身機能維持に努めるとともに、事故防止には最善の注意を払い、報告・連絡・相談・記録の徹底に努めました。

3. 衛生管理の徹底

利用者が快適に生活できる環境づくりを行い、また、落ち着いて安全安心に毎日を過ごすことができるよう、衛生管理・清潔保持に努めました。

4. 医療看護の適正

褥瘡予防の取組みとして早期発見・早期対応を心がけるとともに、身体異常・機能低下の著しい利用者には、適正な対応を心がけました。また、感染症予防には職員への徹底した予防対策指導により、施設内に感染症が発生しないように努めました。また、利用者個々の身体機能の維持・向上に努めるとともに、利用者の尊厳を尊重し、思いやり看護に努めました。

5. 適した栄養管理と食環境の保全

食事は利用者がもっとも楽しみにしていることから、常に食材等の栄養・品質管理に努め、選択食も随時取り入れ、食事に対する意欲を引き出すよう、また、厨房機器等の衛生管理も併せて、安全・安心な食事の提供に努めました。

6. 災害防止と対策の確立

年間防災計画に基づき、自主防災組織における防災訓練を実施し、非常時には地域自治会の協力を得られるよう訓練に参加していただきました。また、防火管理計画に基づき消防設備の点検整備及び火気設備・非常口・避難場所の点検を実施し、災害防止に努めました。

7. 家族・地域とともにある施設

利用者と家族、そして地域の住民に親しまれる施設となるように、地域住民との繋がりを深め、ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行い、介護教室を開催するなど地域に開かれた施設となるよう努めました。

事業報告

	管理運営関係	利用者関係
4	1日 辞令交付・理事長訓示 開設記念日 3日 運営会議 21日 支援課会議 24日 職員会議	10日 誕生会 14日 理容日 30日 九島スワ100歳記念品贈呈式(北秋田市)
5	8日 運営会議 19日 支援課会議 22日 職員会議 26日 職員健康診断	5日 端午の節句 8日 誕生会 12日 理容日
6	3日 運営会議 21日 救急救命講習・地域懇談会 23日 支援課会議 24日 職員会議	5日 誕生会 9日 理容日 19日 前期避難訓練
7	3日 運営会議 22日 支援課会議 24日 職員会議	3日 誕生会 7日 誕生会 14日 理容日 15日～16日 ドライブ 24日 フルーツバイキング 31日 スイカ割り
8	5日 運営会議 19日 支援課会議 21日 職員会議	1日 誕生会 11日 理容日 15日 阿仁前田獅子踊り見学 21日 お盆供養
9	2日 運営会議 3日 献血車来荘 22日 支援課会議 25日 職員会議	1日 利用者結核健診 5日 敬老式 8日 理容日 17日 九島スワ、涌坪ハルエ100歳内閣総理大臣 祝品贈呈 18日 誕生会
10	2日 運営会議 9日 秋田県・北秋田市実地指導 20日 支援課会議 21日 職員会議 23日 平成26年度県北・能代山本地区相談員部 会研修会(～24日)	2日 誕生会 13日 理容日 16日 後期避難訓練

	管理運営関係	利用者関係
11	4日 運営会議 7日 夜勤者健康診断 18日 支援課会議 20日 職員会議 27日 インフルエンザ予防接種	6日 誕生会 10日 理容日
12	2日 運営会議 8日 介護教室(福祉施設利用について) 11日 不在者投票(衆議院議員) 22日 支援課会議 25日 職員会議	4日 誕生会 8日 理容日 22日 インフルエンザ予防接種
1	6日 運営会議 13日 支援課会議 15日 入所調整委員会 20日 介護教室(福祉施設利用について) 22日 職員会議	5日 新年会&宝引大会 8日 誕生会 12日 理容日 20日 涌坪ハルエ100歳記念品贈呈式(北秋田市)
2	19日 支援課会議 24日 職員会議	3日 節分 5日 誕生会 9日 理容日 12日 前田小学校演芸ボランティア 26日 ゲーム大会
3	3日 運営会議 6日 職員会議 19日 支援課会議 24日 職員会議	3日 ひな祭り 5日 誕生会 9日 理容日

平成26年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会
複合ケアセンター もりの郷

1. 総括

年度途中から、介護報酬減額が取りだされたことから、今後の事業展開について、職員の意見交換会や運営会議で議題に取り上げ検討を行ってきた。今後さらに経営が厳しくなっていくことから、地域密着型の施設として果たすべき役割を認識し、新たな事業を模索しながら取り組んでいきたい。

また、障がい児者を持つ親の会の視察の際、親が認知症になっても障がいをもつ子供と共に暮らせる施設があることに安心したという意見があった。こうした意見を取り入れながら、複合型施設の幅を広げていきたい。

2. 重点事項取り組み報告

(1) 地域との連携

今年度の計画に沿い、4つの自治会の祭典に模擬店を出店し、利用者と共に参加することができた。災害時の協力体制について、災害時相互援助覚書を交わし避難訓練においては、車椅子操作や館内の非常口等の説明を行った後、避難誘導を行っていただいた。訓練後に出された意見を今後の訓練に生かしていきたい。

また、災害想定のカキ出し訓練にも地域方に協力していただくことができた。

(2) 事故防止

事故報告は全事業所で58件で前年度の約半数に減少したが、事故による受診件数、骨折等で治療が必要となった件数を減少させるには至らず、次年度はより一層の事故防止への意識付け、事故予測強化を図っていきたい。

また、事故発生から時間が経過すると再発防止策の実施がなされず、同じような事故の発生を招いたケースもあったため、事故防止策の実施の徹底を図ってきたい。

(3) 感染症予防

予防及び発生時の実践研修を各事業所において計画的に実施し、今年度の感染症発生はなかった。今後も、予防策の徹底、職員の健康管理の意識付けを図り、感染症予防を徹底していきたい。

(4) 職員の資質の向上

施設内研修については、前年度の参加率は約50%で業務上に都合で参加できない職員が多かったことから、同じ研修を2回開催することで参加しやすい体制を作り、参加率を75%まで増やすことができた。今後も参加しやすい体制を作り、学びの機会を増やしていきたい。

また、職員の接遇についての苦情があったことから、外部から講師を招き「介護場面での接遇」についての研修会を開催した。実際の場面を想定しての言葉遣いなど、自らの支援を振り返る有意義な研修となった。さらに、職員の腰痛予防対策として実践を交えた研修会を開催した。

資格取得については、介護福祉士は3人受験し1人合格したが、介護支援専門員については4人受験し合格者なしという結果であった。

(5) 他事業所との連携（障がい福祉サービスと介護保険の併用）

サポートホーム利用者の高齢化に伴い、障がい福祉サービス利用継続困難が見込まれる利用者やリハビリを希望する利用者については、随時介護保険を申請し、介護保険サービスの利用も併用しながら、心身機能の維持を図った。今後も状態に応じて、介護保険の申請や住まいの場の検討を行っていきたい。

(6) 経費の削減

消費税増税に伴い一層の経費削減に努めた。

- ・シーリングファンを取り付け、フィルターのこまめな清掃により冷暖房の効力を上げ、燃料費削減に努めた。
- ・コストが高いカラー印刷使用の制限を図った。
- ・消耗品はコストを比較し、安価な物を購入することの徹底を図った。

3. 各事業所実績報告 (%)

事業所名	平成 26 年度計画	平成 26 年度実績	前年度実績
GH もりの郷	96.0	99.1	97.1
もりの家(さくら)	96.0	98.7	98.9
もりの家(コスモ)	96.0	95.4	98.0
デイサービス	83.0	76.6	76.7
サポートホーム	97.0	98.1	97.3

4. 各事業所取り組み報告

(1) グループホーム

利用者の生活支援に関する事に留まらず、ご家族、地域の方々との連携強化に努め、地域の方々と一緒に実施した、夜間避難訓練・たんぽ会・介護予防座等通し、グループホームの理解に繋がったことは大きな意義があった。

今後も、地域との関係強化を図り、地域密着型施設の役割を果たしていきたい。

(2) デイサービス

小規模事業所の利点を生かし、体操や機能訓練、レクリエーション等利用者の要望に配慮しながら個々の状態に応じた活動を提供した。また、社会参加に視点をおき、買い物機会の提供、保育園・小学校訪問などを行った。

利用率については、計画を大きく下回っており、短期入所利用等で利用者が減少する、冬期間の利用者確保が最大の課題であり、次年度の重点取り組みとする。

(3) サポートホーム

地域行事や外出等で社会参加の機会を積極的に設けて、地域社会で生活する一員として自覚を持って、楽しく安心して暮らせるように支援した。利用者の高齢化に対しては、介護保険サービス利用を併用しながら対応した。

8月から、陣場岱ハイツの保安として20時30分まで職員やパートの配置時間を延長してからは、利用者間のトラブルも軽減し危険行為の発生がなく経過した。

事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	19日 SH家族会総会(3家族・4人参加) 25日 運営会議	17日～20日 クリーンアップ実施(GH郷・家) 27日/29日 観桜会(SH・GH家・DS) (ハタハタ館・阿仁河川公園)
5月	1日 職員全体会議 15日 運営会議 19日 職員・SH利用者健康診断 21日/22日 地域運営推進会議(GH) 26日 第1回施設内研修「介護技術」	1日/3日 観桜会(GH郷・家) (国花苑・中央公園) 17日 SH合同新緑ドライブ(鹿角市) 27日～29日 森中1年生職場体験(2人) 28日 北欧の杜歩こう会参加(GH家9人) (もりよし荘主催)
6月	4日 GH開設者実習受け入れ(2人) 8日 平里婦人会草取りボランティア(8人) 11日 前田駅前祭典実行委員会 18日 もりの家夜間避難訓練 19日/25日 第2回施設内研修 「ポジショニング」 20日 運営会議 23日 もりの郷夜間避難訓練 24日 ハイツ・であい避難訓練	3日 オカリナ演奏訪問(郷) 7日 もりよし荘もりりんピック参加(17人) 8日 新屋布祭典(模擬店出店・演芸観賞) 12日/23日 もりの家外出(バラ園) 15日 前田駅前祭典(神輿・民謡・踊り見学) (模擬店出店・演芸観賞) 22日 SHカラオケ大会(クインズ) 25日 GH・DS合同外出(藤里・田代方面)
7月	8日/31日 第3回施設内研修 「メンタルヘルス」 15日 秋田市手をつなぐ育成会視察(40人) 18日 運営会議 18日/23日 地域運営推進会議(GH) 22日 災害時相互援助覚書締結 (五味堀自治会) 28日 浄化槽法定検査	2日 県北レクリエーション大会(SH11人) 7日～あじさい見学(DS・GH) 12日 もりの郷合同昼食会(ハーベキュー) 13日 鷹巣レクダンスサークル訪問(GH家) 14日 GH郷・DS外出(田沢湖・八森方面) 30日 もりの家外出(八森方面)
8月	8日/27日 第4回施設内研修 「GHにおける看取り」 26日 運営会議 21日 JA女性部鷹巣支部視察(24人) 27日 災害時相互援助話し合い (米内沢駅前自治会)	3日 トレーラーハウスデイキャンプ(SH) 6日 神成ねぶ流し(ハイツ) 7日 阿仁前田火祭り・花火鑑賞 (駐車場にて模擬店出店) 11日～17日 SH夏期一時帰宅(10人) 12日 SH残郷者日帰り旅行(打当温泉) GH郷外出(岩館方面) 15日 獅子踊り見学(森泉荘) 18日～29日 田んぼアート見学(内陸線)
9月	2日 利用者結核検診(GH郷・家) 16日/17日 地域運営推進会議(GH) 16日/30日 第5回施設内研修 「腰痛予防」 18日 運営会議 20日 災害時相互援助覚書締結 (米内沢駅前自治会) 28日 GH 家族総会	5日 田んぼアート見学(田舎館村) 10日 森吉地区敬老式(GH郷5人・家3人) 14日 米内沢駅前祭典・地域交流会 (模擬店出店・演芸観賞) 神成地区祭典・地域交流会 (模擬店出店) 23日/25日 DSピクニック昼食会 28日 GH3ユニット敬老を祝う会

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	14日 もりの郷避難訓練 17日 前田駅前老人クラブとのだまこ交流会 介護予防教室開催(講義・実技) 16日 運営会議 19日 もりの家夜間想定避難訓練 20日 愛心宛 みんなの会視察(11人) 21日 北秋田市実地指導(GH郷・DS) 24日 米内沢駅前老人クラブとのだまこ交流会 介護予防教室開催(講義・実技) 29日 職員意見交換会 テーマ「もりの郷の今後を考える」 夜勤職員・SH利用者健康診断 31日 もりよし民生児童委員視察(19人)	4日 森幸園たんぽ会参加(SH・GH郷) 9日 JA秋田北央歌謡ショー鑑賞(SH・GH) 23日～30日 各事業所紅葉ドライブ (八幡平・田沢湖・打当方面)
11月	5日/21日 地域運営推進会議(GH) 5日 であいの家避難訓練 7日 外部評価訪問調査(GH郷) 14日 ハイツ避難訓練 20日 運営会議 25日/27日 第6回施設内研修 「レクリエーション」	4日 もりの家外出(アップルロード) 8日 もりの郷合同昼食会(千羽寿司来郷) 11日 オカリナ演奏訪問(郷) 18日 前田小学校職場体験(5人) 23日 SHカラオケ大会(クインズ) 29日 角館飾山囃子訪問
12月	5日 SH利用者インフルエンザ [※] 予防接種 11日 NHK歳末たすけあい運動 募金とりまとめ会 16日/18日 第7回施設内研修 「知的障害者について」 18日 運営会議 20日 担当理事との懇談会(四季美館) 23日 第8回施設内研修(外部講師) 「介護場面での接遇」	20日/27日 SH慰労会 22日～25日 各事業所クリスマス会 27日 もりの郷餅つき交流会(駅前老人クラブ) 29日～7日 SH利用者一時帰宅(11人) 23日 SH残郷者日帰り旅行
1月	12日 第9回施設内研修(外部講師) 「介護場面での接遇」 15日 運営会議 21日/22日 地域運営推進会議(GH) 25日 もりの郷炊き出し訓練(停電・断水想定) 小又自治会(5人) 29日 もりの家炊き出し訓練	7日 各事業所新年を祝う会
2月	14日 除雪ボランティア(新屋布地区) 20日/25日 もりの家炊き出し訓練 22日 もりの郷炊き出し訓練 24日 第10回施設内研修「高齢者の食 事と栄養管理」(森幸園庄司主任栄養士) 27日 運営会議 28日 合同地域運営推進会議(GH)	3日 各事業所節分行事 8日 SHグループ外出(内陸線・打当温泉)
3月	6日/12日 第11回施設内研修 「認知症ケアについて」 13日 運営会議	3日 各事業所ひなまつり行事 27日/28日 SH慰労会